

教科		国語		科目		古典B		学年	2	単位数	4		
類型		共通				履修規程		必修					
学習の到達目標						使用する主な教材							
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、もの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						古典B 古文編/漢文編・数研出版							
期	月	配当時間	学習内容			学習の具体的内容とねらい							
第一 学期	4	11	説話「宇治拾遺物語」「十訓抄」他 歌物語「伊勢物語」「大和物語」 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。			・助動詞に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の考えをまとめる。 ・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・陳述の副詞、係り結びの法則を理解して現代語訳する。							
			故事「買履忘度」「漱石枕流」 「華歆・王朗」他 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえる			・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって、表現上の効果を生み出していることを理解する。 ・鄭人のどのような態度が批判されているのかを的確にとらえる ・孫子荊の発現の面白さについて、自分なりの考えを形成する。 ・「華王之優劣」の意味を理由とともに的確にとらえる。							
	5	1	中間考査										
			6	12	随筆「枕草子」春はあけぼの他 日記文学「更級日記」東路の道の果て他 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。			・「すさまじきもの」の対象をまとめる。 ・「松虫」「われから」が古来どのように読まれているかを理解し、作者の感性の特異性を理解する。 ・作者以外の「女房たち」がとった行動を状況ごとに順にまとめる。 ・「せ」「む」の識別を理解する。 ・掛詞を理解して和歌を現代語訳する。 ・敬語の用法を理解する。					
					漢詩、絶句、律詩 ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。			・漢詩の構成上、音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・漢詩の表現方法や思想が、我が国の文学に影響を与えていることを理解する。 ・反語、否定の句法を理解する。					
					7	10	1 期末考査						
	物語「源氏物語」光源氏誕生、 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、「一の皇子」と「玉の男」 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、光源氏の藤壺に対する心情をまとめる。 ・和歌に描かれている情景を、表現に注意して読み、登場人物の状況をとらえる手掛かりにする。 ・敬語の用法、敬意の対象を理解して、現代語訳する。											
		史伝「鴻門之会」「四面楚歌」他 ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。					・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・漢詩の表現と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る ・項羽が江東に帰らなかった理由について自分なりの考えを形成する。 ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 ・日本語としての「四面楚歌」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解する。						
8		随筆「方丈記」ゆく河の流れ他 「徒然草」あだし野の露他 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。 ・古典を読んで、人間、社会、自然など			・「無常」に対する作者の考えを読み取り、共感し、疑問に思い思索を深める。 ・文章の内容を場面ごとに分け、それぞれの内容を要約する。 ・主題を表してる一文を抜き出し、作者がそのように考える根拠について考察する。 ・文章に用いられている修辞法について理解する。 ・「ぬ」「し」の識別を理解している。								

第二学期	9	12	に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	・副詞「いはんや」「さへ」を理解して正しく現代語訳する。 ・敬語の用法、敬意の対象を理解して、現代語訳する。 ・助動詞の用法を理解して現代語訳する。
			文章「漁父辞」「桃花源記」他 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・屈原と漁父の問答について、それぞれの考え方をまとめる。 ・日本語としての「桃源郷」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解する。 ・文章中の対句表現を理解している。
			中間考査	
	11	19	歴史物語「大鏡」雲林院の菩提講他 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・「さる」「けり」の指示内容を理解する。 ・助動詞「き」「けむ」「けり」の使い方が、語り手の出来事を記述する態度を表していることを理解する。 ・文章の内容を「出来事」「後日談」「語り手の感想」に分け、それぞれの内容を要約する。 ・「道隆」「道兼」「道長」の人物像をまとめ、比較する。
			論語、孟子 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、孔子の思想の特徴を読み取る。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、孟子の思想の特徴を読み取る。 ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 ・文章中の対句表現を理解している。
		1	期末考査	
12	7	軍記物語「平家物語」忠度の都落ち他 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・朗詠を行った忠度の心情について、自分の考えを形成する。 ・知盛の描写から、どのような人物像をイメージできるか考察する。 ・敬語の用法を理解して、現代語訳する。	
		荀子、老子 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、荀子の思想の特徴を読み取る。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、老子の思想の特徴を読み取る。 ・「為」の読み方について理解する。	
第三学期	1	10	日記文学「健礼門院右京大夫集」 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・恋人の死を受け止めかねて苦しむ作者の様子がどのように表現されているか考察する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、女院の、過去の様子と現在の様子がどのように比較されているかまとめる。
			莊子、韓非子、墨子 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、莊子の思想の特徴を読み取る。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、韓非子の思想の特徴を読み取る。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、墨子の思想の特徴を読み取る。
			和歌、歌謡、俳諧 ・古典を読んで、内容を構成や展開に即	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の六歌仙それぞれに対する評価を読み取る。
	3	1	学年末考査	
		1	1年間のまとめ	
				・生活のあらゆる場面で国語について意識する態度を確認させる。
評価の方法			定期考査、授業中に実施する小テスト、提出物で総合的に評価する	